

**WEEKLY SIGNAL**

平成31年1月25日(金) 1459号

上田八木短資株式会社

**来週の市場とレート予想**

	1/28(月)	1/29(火)	1/30(水)	1/31(木)	2/1(金)
無担保O/N			△0.086% ~ 0.001%		
銀行券	+ 800	トシ	トシ	トシ	トシ
財政他	+ 3,300	+ 1,000	△ 4,000	△ 1,500	△ 20,000
資金需給	+ 4,100	+ 1,000	△ 4,000	△ 1,500	△ 20,000
主な要因	国庫短期証券発行・償還(3M)		国債発行(40年)		国債発行(2年)
オペ期日	共通担保(全店) △ 5,100 CP等買入 △ 400 補充供給 + 100				
オペスタート	国債買入 + 4,700 共通担保(全店) + 7,000 ETF買入 + 700		社債等買入 + 800		
(日本)	日銀金融政策決定会合議事要旨 (12月19・20日分)	日銀金融政策決定会合議事録 (2008年7-12月開催分)	消費動向調査(1月)	日銀金融政策決定会合における主な意見 (1月22日・23日分) 日銀雨宮副総裁、金融経済懇談会で あいさつ・記者会見 鉱工業生産(12月)	日・EU経済連携協定(EPA)発効 完全失業率(12月) 有効求人倍率(12月)
(海外)	ユーロ圏 ドラキ ECB総裁講演 ユーロ圏 マネーサプライ(12月) 英 イングランド銀行カーニー総裁講演	米 FOMC(30日まで) 米 消費者信頼感指数(1月)	米 FOMC政策発表 米 ハウエルFRB議長記者会見 米 ADP雇用統計(1月) 米 GDP(4Q、速報値) ユーロ圏 消費者信頼感指数 (1月、改定値)	米 新規失業保険申請件数(26日終了週) ユーロ圏 失業率(12月) ユーロ圏 GDP(4Q、速報値)	世銀暫定総裁に クリスティーナ・ゲオルギエバ氏が就任 米 雇用統計(1月) 米 ISM製造業総合景況指数(1月) 米 ミシガン大学消費者マインド指数(1月) ユーロ圏 CPI(1月、速報値)

**【インターバンク市場】**

無担保ターム物	予想レンジ
SPOT 1M	△0.030 ~ 0.050
SPOT 2M	△0.020 ~ 0.060
SPOT 3M	△0.010 ~ 0.070
SPOT 6M	△0.010 ~ 0.100

**<インターバンク>**

日銀当座預金残高は、週初385兆3,400億円から始まった。その後は国債買入オペや国庫短期証券買入オペ等を主因に増加し、386兆6,500億円まで越州無担保コールON物加重平均金利は、週初△0.067%から始まった。24日まで場合に大きな変化は見られず、同金利は△0.067%~△0.066%で推移した。週末25日は、3日積みであることから地銀業態を中心に調達ニーズがやや強くなり、同金利は△0.063%まで上昇した。ターム物は1W~2W物を中心に、主に△0.045%~△0.030%の水準で出合が見られた。23、24日に日銀金融政策決定会合が行われ、金融政策の現状維持が決定された。また、同日公表された「経済・物価情勢の展望(展望レポート)」において、生鮮食品を除く消費者物価指数(CPI)の2019年度上昇率予測を、前回(10月)から0.5%引き下げ0.9%とした。同予測の引き下げは3回連続となった。来週の主な予定は、国内では日銀雨宮副総裁の金融経済懇談会でのあいさつ(31日)や、鉱工業生産(31日)などがあり、海外では米FOMC(29-30日)や、米GDP(4Q、速報値)の公表(30日)、米雇用統計(1日)などがある。

**【オープン市場】**

CP3M(a-1+)	△0.010 ~ 0.000
TDB 3M	△0.35 ~ △0.25
現先(on/1w)	△0.050 ~ 0.000

**<C P>**

今週の入札発行総額は約7,000億円で、週間償還額(約3,700億円)に対し発行超となった。発行市場は、商社・鉄鋼・電気機器等の複数の業態からの大型発行が連日オファーされ、活況となった。24日時点での発行残高は、約21兆900億円と先週末(20兆7,456億円)から大幅に増加した。発行レートは、投資家の根強い運用ニーズにより0%のレンジで変わらず。来週の償還総額(1/28~2/1)は、月末の大量償還(1兆4,000億円)を含み1兆8,000億円程度となっている。発行市場は、事業法人の発行ニーズが強く大量償還に対し相応の発行が見込まれる。2月末残高は、前年同月比で23か月連続プラスとなり、21兆円台半ばに達すると思われる。発行レートは、投資家の購入ニーズが強く、変わらずマイナス~0%近辺での出合いとなろう。CP等買入オペが、28日に2,500億円でオファーされる予定。

**<TDB>**

25日入札の3M810回債は、最高落札レート△0.1878%(前回債△0.1804%)、平均落札レート△0.1932%(同△0.1880%)と前回債から利回りが低下。入札後のセカンダリー市場はショートカバーの動きから同3M物は急騰する展開となり、入札水準を大幅に下回る△0.30%まで買いが見られた。来週は2月1日に3Mの入札が予定されている。

**<レポ>**

銘柄先決めGC取引は週初△0.13%~△0.14%近辺から始まり、短国買入オペがオファーされた23日受渡しでは△0.15%近辺まで低下した。24日受渡しの後場に△0.12%台まで上昇。以降週末にかけて△0.12%近辺の出合いが続いた。SC取引では10年351回債のbidが多く、週前半は△0.10%台半ば。国債買入オペがオファーされた28日受渡しでは、△0.20%台で多く取引された。その他2年396回債、5年136・137回債、10年340・341・342・344・345・346・347・349回債、20年164・165・166回債、30年58・59回債、40年11回債などに引合いが多く見られた。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。